

この姉妹都市派遣は私にとって一生の思い出となった。この 9 日間ほど人の優しさを身をもって実感できる日は、人生でもう二度とないと思う。

コロラドへ着くと、のどかな街並みに感動し、その地で 1 週間も過ごせることが本当に嬉しかった。そして遂に来たホストファミリーと会う日。何度かメールを交わしていたため会うのがとても楽しみだった。優しい人だとは分かっていたが、実際に会ってみると想像の何倍も優しい方だった。一緒にボーリングをして楽しみ、その頃には出発時にあった緊張はもう無くなっていた。

問題が起こったのはその次の日からだ。ホストファミリーと動物園に行く予定だったが、私の具合が悪くなり、急遽予定を変更することになってしまった。せっかくアメリカへ来ているのに体調を崩してしまったのがショックだった。また、何よりホストファミリーと一緒に行動していた友達に本当に申し訳なかった。しかし、そんな中でもホストファミリーはお米を炊いてくれたり、ブランケットを用意してくれたりと私の体調が良くなることを真っ先に考えて対応してくれた。さらに友達も、困ったことがあったら何でも言って欲しいと声をかけてくれた。また、その後に私の様子をホストファミリーから聞いた先生や市役所の方がメールで体調を心配してくださった。その言葉や行動のおかげで私は安心することが出来たし、早く体調を治そうと思えた。その日から連続で 4 日ほど体調が悪い日が続いたが、人の優しさに触れられたのはそれだけではなかった。パーティ会場やその後のホストファミリーデー中に、ここではとても紹介しきれないほど多くの人々から励ましの言葉を貰った。今でも思い出すと泣きたくなるほどの優しい言葉の数々に元気づけられた。ホームステイの最終日には先生のホストファミリーに日本食を振舞ってもらい、買い物にも連れて行ってもらった。ここまでの経験だけでも十分に人の優しさに触れているのだが、この後さらに嬉しいことが起こった。ホストファミリーの 1 人に医者があり、無料で診察をしてもらえることになったのだ。結果は高山病だった。病名が分かっただけでも安心したが、さらに診察後には薬までいただき、優しい言葉もかけてもらった。言葉に言い表せないほど本当に嬉しかった。薬のおかげか、最終日は思う存分楽しめた。

私はこのようにコロラド滞在中、多くの人々に元気づけられ、無事に帰って来ることができた。優しさは全世界で通じるのだということを身に染みて感じられた 9 日間だった。私はこれからこの経験を色々な人に伝えること、そして彼らがしていたような思いやりのある行動を自分もすることに力を入れたい。この貴重な経験を将来に活かすために。また、機会があればまたコロラドへ訪れ、この感謝を再び伝えたい。